

再設計される(redesigned) SATについて

大学入試センター研究開発部
石岡 恒憲

1

SAT

- アメリカ大学入学に必要な共通テストの一つ
- アメリカ大学入試
 - 共通出願用紙(エッセイあり)
 - SAT(ACT)+GPA+(エッセイ)+推薦状(2通)
- 競争大学では +
 - SAT科目テスト(通称SATⅡ)+(高度カリキュラムやAPを含む重み付き)GPA+面接
- 共通テストの改訂
 - ほぼ10年おき(今回は2006年)
 - 2016年春(3月)から改訂

2

構成

- SAT(Now)の試験項目
- Eight Key Changes
- 再設計の方針(CBの主張)
- まとめと若干の見解

3

試験項目

- SAT 600~2400点
 - Critical Reading(批判的読解) 200~800点
 - Writing(作文)エッセイを含む 200~800点
 - Math(数学) 200~800点
- ACT 1~36点
 - English(国語:用法/構造や修辭的なスキル)36点
 - Math 36点
 - Reading(読解)36点
 - Science(科学:解釈、分析、評価、推論、問題解決)
 - Optional Writing Test(小論文) 36点

4

Eight Key Changes

1. Relevant Words in Context (コンテキスト内の関連語選択)
 - 例題:intenseの意味
emotional/concentrated*/brilliant/determined
 - 単語の意味は、その単語をどのように使用しているかによって変わる
 - 文章のコンテキストに基づいて言葉の意味を解釈
 - 学生時代or社会においても必要
 - 難しい単語をやみくもに覚えるより、注意深い読解
 - 国語(英語)を易くして難解語彙の知識を要求する問題を止める

5

2. Command of Evidence

- 証拠に基づいた読解 (Evidence-Based Reading and Writing)
- なぜそのように解釈・推論したかを、広い範囲の情報源の中から見つけた証拠の提示とともに求められる
- 選択肢解答+その解答となる根拠
- 証拠
 - 図の場合もあるし複数パラグラフの場合もある
 - 文学・ノンフィクション・人文科学、サイエンス、歴史、社会科学など

6

3. Essay Analyzing a Source

- 現在のSATエッセイとは非常に異なるもの
 - 学生はパッセージ(文章の一節)を読んで、
 - 著者が読者を説得するための議論をどのように構築しているかを説明
- プロンプト(指示文)は事前に与えられ不変
 - 提示される資料だけが変更される
- エッセイはオプション的に

7

エッセイ問題のプロンプト(例)

「あなたは下のパッセージを読んで、ポールボガード (Paul Bogard; 映画監督) が以下の項目をどのように使用しているかを検討しなさい。」

“Let There Be Dark.” ©2012 by Los Angeles Times. Originally published December 21, 2012. (791 words)

- 主張を指示するための証拠, たとえば事実や例など
- アイデアを展開し, 主張と証拠を接続するための理由づけ(reasoning)
- その考えをより強固にするための文体や説得力のある要素, たとえば言葉の選択や感情の訴え

変わる

変わらない

8

4. Focus on Math that Matters Most

- 3つの不可欠な分野に焦点
 1. 問題解決とデータ解析
 - 量的なりテラシーそのもの
 - 比, 割合, および比例推論(proportional reasoning)
 2. 代数
 - 線形方程式やシステムの習得
 3. 「高度な数学」の入門
 - より複雑な方程式とその操作の精通
- 幾何学と三角法(三角形の角の大きさと辺の長さの関係を用いる手法)を試験的に追加

10

5. Problems Grounded in Real-World Contexts

- 現実の世界に根ざした質問
- 読解問題
 - 文学とノンフィクションだけでなくチャートやグラフ
 - 理科や社会科学, それ以外の分野からも出題
- 数学セクション
 - 理科, 社会科学, その他の現実問題を解決するための応用問題
 - いくつかの段階を踏まえて解答(シナリオが提示)

11

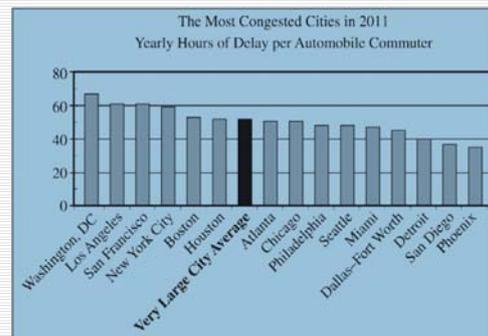
現実問題に対応する数学の出題例

- ある銀行が旅行者向けのクレジットカードを発行
 - 本国通貨から外国通貨の物品購入が可能
 - 手数料4%
- サラがインドに旅行
 - 602 ルピーの物品を4%の手数料込みで\$9.88
- Part 1: 交換レートは1ドル当たり何ルピーか?
 - $1.04x = 9.88$; $x = 9.5$ [ドル]
 - $r = 602 / 9.5 = 63$ [ルピー/ドル]
- Part 2: 7,500ルピーのプリペイドカードは手数料なしで購入可能。何ルピー以上買えば通常カードより有利か?
 - $1.04 \left(\frac{r}{7500} \right) \geq 1$; $r \geq 7212$

12

6. Analysis in Science and in History/Social Studies

- 読解, ライティング, 言語, 数学のテストでは, 理科, 歴史, 社会科のコンテキストが出題



どの主張が正しいか
 A: New Yorkの遅れは平均よりも小さい
 B: LAの遅れはDCよりも大きい
 C: DCの遅れはNYよりも大きい(正解)
 D: DetroitはHouston, Atlanta, Chicagoより遅れる

※ただし英文の表現は多様

13

7. Founding Documents and Great Global Conversation

- 米国建国文書及びグローバルカンバセーション
 - 独立宣言, 権利章典
 - フェデラリストペーパー(アメリカ合衆国憲法の批准を推進するために書かれた85編の連作論文)を含む
 - アメリカ市民生活に影響を与え続けている
 - 国内外の作家, 論客, 思想家にそって起草。エドモンド・バーク(英・保守主義の父), メアリ・ウルストクラフト(英・フェミニズムの先駆者), およびマハトマ・ガンジーなど。
 - 彼らは自由, 正義, そして人間の尊厳を広め, 会話を深めていった ➢ これらの一節から出題



14

8. No Penalty for Wrong Answers

- 不正解の解答は減点されない
- 正解したときに限ってポイントを獲得
- この変更により, 学生が最良の答えを出すことを奨励する

15

再設計の方針(CB曰く)

- “college readiness and success”
(大学に入るための準備ができていることと大学での成功)
 - 最もクリティカルなものが「スキルと知識」
 - これを最もよく反映するように再設計した
 - 最新の研究結果に基づく
 - トピックの数が少なくなり, より制約的 (stronger command) になった

16

まとめと若干の見解

- ACTへの追随
 - 難解語彙を減らす、誤答への減点なし、エッセイをオプション
 - 難解語彙の少ないACTにSATがシェアを逆転
 - ACT 180万人、SAT 150万人(高校生2013年)
 - 理科や社会の問題は素材に; スコア通知はより詳細
- SAT独自の改訂もある
 - 米国建国文書及びグローバルカンバセーション
- “predicting college success”から
“college readiness and success”へ
- SATサブジェクトテスト(通称SAT II)は変更なし

21